

高齢者との コミュニケーションの 極意!



高齢者と一口にいても、まだまだお元気な方から介護を必要とする方まで、心身の状態はさまざまです。しかし個人差はあるものの、誰もが老化による視力や聴力、足腰の機能の低下、物忘れが多くなるなどの心身機能の低下はしていきます。高齢者自身も心身の低下に不安を抱いてる場合があります。そうした高齢者とのコミュニケーションをとる為に必要なのは「意識」と「知識」です。

この号ではよりよい高齢者とのコミュニケーションをとるコツを特集しました。良いコミュニケーションがとれば、双方に安心感や信頼感が生まれます。



お年寄りとの会話の基本は、**ゆっくり・ゆい**に発音することです。年をとれば誰でも音が聞き取りにくくなります。
・摩擦音(たぢつてん、せしせそなど)
・伸ばす音
・小さい「い」のある言葉
は、聞き取りにくい音です。



はっきりゆい

発音しまじよう

自分が尋ねたいことを**はっきり・短く**尋ねましょう!
いま、自分が相手から聞き出したいこと、必要としている情報は何かを、はっきりさせ、だらだらした質問にならないようにしましょう。



はっきり短く

尋ねまじよう

相づちは「傾聴」するときの大切な道具です。同じような相づちばかりだと、話しているほうはもう一つ共感してもらっていないような気持ちになります。相手の気持ちを受け止めるには「聞くだけ」「同じ相づちだけ」ではダメです。「あ」「ええ」「ええ?」「うんうん」「うーん」「それぞつ」「それで?」「ほいほい」なるほど」「など、あなたの気持ちを表せる相づちを返しましょう!



ゆるゆるな

相づちを使いまじよう

知らないような言葉は最初から使わず、わかる言葉で話しましょう。特にカタカナ語はお年寄りにはわかりにくいものです。
パンツ ↓ スボン
スニーカー ↓ ブック、運動靴
ベスト ↓ チョッキ
キャップ ↓ 帽子、野球帽
など、会話の中から相手がわかる言葉を拾い上げる事も重要です。



相手がわかる

言葉で話しまじよう

お年寄りは決して「イヤ」「ムカ」「はあ」「あー」など、いやいやとオーバーにしてしまうと、不自然に間延びした言い方になり、幼い子どもに話しかけるような物言いになってしまいます。相手に配慮したつもりでも、かえってお年寄りのプライドを傷つけてしまうことにもなるかもしれません。人生の先輩として敬う姿勢はコミュニケーションを円滑にします。

子どもに

話すようにしな

高齢者の方に説明をするときは、若い人に話す時よりも少し長めの「間」を置いてあげることが必要です。意味の区切りごとに、普通より長めの「間」を置くことにより、その内容を頭の中で処理をし、次の説明に入る頭の準備ができ、説明する側も高齢者に意味を伝えやすくなります。



意味のまじり

区切りまじよう

介護福祉士による キャンパスツアー & 出前講義

医療・保健・福祉を教育の柱とする福岡学園(福岡医療短期大学・福岡歯科大学・福岡歯科大学医科歯科総合病院)では、高校「PTA 研修」や「職員研修」「インターンシップ」のほか、「総合的な学習」や「進路指導」にキャンパスを開放しています。

本学園の総合医療・福祉施設を自由にツアー見学することができます。本学の保健福祉学科は、医療的ケアができる「認定特定行為業務従事者」という資格が取れる学科で、福岡市近郊では本学だけです。また、本学には多彩な教授陣が揃っており、医療・福祉関係の他にも、『面白く、ためになる出前講義』も行っております。

専任講師による出前講義

インターンシップ事前指導

本学園は高齢者施設を持っており、介護・福祉を体験・学習するには最適です。そのための事前の学習のお手伝いをします。

- ・簡単な介護技術
- ・車イス操作
- ・認知症の方への対応
- ・コミュニケーション技術など



認知症サポーター養成講座

■ 認知症サポーターキャラバンメイトの資格を持つ本学の教員による講座

認知症サポーターは、認知症の方や家族を見守る応援者です。正しい知識を持つことで、認知症の方や家族に何かあった時、さり気ないお手伝いができる、いわば人間杖です。



▲大学生・高校生に向けての出前講義



学校、公民館、特別養護老人ホームや各施設などに出向いて、本学の教員による出前講義を行います。受講修了者には認知症サポーターの「目印」となるブレスレット(オレンジリング)をお渡しします。



▲キャラバンメイトの資格を持つ本学教員による講座

認知症サポーター養成講師役のキャラバンメイトは、一定の研修を修了し、地域で認知症への理解を深めることを目的に市町村に登録をして活躍しています。

保健福祉 & 介護関連の授業



介護福祉士や看護師による授業や講演

◀糖尿病と生活習慣について。スライドなどを使用し、わかりやすく説明していきます

食育関連の授業



管理栄養士による食育に関する講演等

◀旬な食材を日常の食事に上手に取り入れる方法や献立などを紹介

医療的ケア関連の体験授業

専任講師(看護師等)による授業や講演

口腔介護・歯科衛生関連の授業

関連の実技講習授業(歯科医師や歯科衛生士による授業や講演)

対人コミュニケーションや文化人類学の授業

人と上手に付き合うための方法の講義や講演

※ 組み合わせやアラカルト選択も自由です。